

第8章 都市形成の課題

1. 都市の部門別課題の整理

第3章から第7章までにおいて整理した都市における部門別の課題は、以下のとおりです。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">① 都市の概況<ul style="list-style-type: none">● 用途地域外への市街地拡散の抑制● 都市経営を意識した拠点性向上や既存都市基盤を活用した都市の形成② 交通<ul style="list-style-type: none">● 自動車に依存した都市機能の改善● 基幹公共交通である鉄道の有効活用と移動手段の確保③ 人口動向<ul style="list-style-type: none">● 用途地域外よりも人口減少率が大きくなる用途地域内への対応● 既成市街地や既存住宅団地における急激な人口減少や高齢化への対応● 用途地域外等の市街化動向の強い地区への市街地拡散の進行抑制④ 災害リスク<ul style="list-style-type: none">● 市街地を災害から守る対策の実施⑤ 財政と公的不動産<ul style="list-style-type: none">● 良好な都市形成に向けた都市の価値の向上● 将来の都市形成と連携した公的不動産の適正化 |
|---|

2. 都市形成の課題

本市の都市形成の特徴や土地利用の変遷、さらには部門別の課題から整理される都市形成上の課題は、以下のとおりです。

- ① 企業立地による就業者の増加等が、商業や居住など都市の活性化に十分に寄与していない状況の改善が必要
- ② 都市の拠点性が高くない都市構造が土地価格の低下等につながり、固定資産税等の減収を招いていることから、今後更新時期を迎える都市機能の適正配置による拠点性向上や既存都市基盤を活用した都市形成が都市経営上重要
- ③ 市街地形成の歴史や現況都市機能施設の配置状況等に配慮した、人口誘導及び都市形成が必要
- ④ 都市基盤が脆弱な用途地域外の人口増加が進むことで、市民全体に対する日常サービスの利便性が低下するとともに、自動車に依存した都市構造がさらに進行することから、市街地拡散の制御による適正な都市形成が必要
- ⑤ 都市基盤が整備された市街地や歴史的に重要な既成市街地において人口減少が顕著であり、市街地再生による中心部の都市機能及び人口誘導が都市形成上必要
- ⑥ 移動困難者の移動手段の確保や市の財政への負担軽減等のため、基幹公共交通である鉄道の有効活用により、都市と公共交通が連携した都市構造の実現が必要
- ⑦ 市街地において風水害等による被災の危険性が高い地域が多く存在することから、市街地を災害から守る対策が必要



都市力の低下